



笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,652 世帯
人口 10,689 人
男 5,376 人
女 5,313 人
(令和5.1.1 現在)

松本一本ねぎ栽培・加工に取り組み

菅野小6年生・笹賀の休耕地で体験学習

菅野小学校の6年3組の36人は笹賀地区の山田賢司公民館長が所有する休耕地を借りて「松本一本ねぎ」を栽培した。担任の高橋岳教諭から「総合的な学習の時間に何か記念になるものを作ろう」と提案があり、「この辺りにあるもので有名なものが良い」とクラスで話し合い「松本一本ねぎ」に決定した。

ネギの栽培

最終学年になり、何か名前を残せるものはないかとクラスで考え栽培した「松本一本ねぎ」に自分たちのブランド名「あますがの」を考案した。松本一本ねぎ生産の第一人者で10万本を栽培するJA松本ハイランド役員



ネギの収穫

の青木秀夫さん(筑摩)に指導をお願いし、5月に植えてから草取り等の手入れを重ねてきた。



仮収穫として11月にひとり1本ずつ家に持ち帰り試食して味わった。上田桃愛さんと村上紗彩さんは「ラーメンや、す

き焼きに入れたら美味しく美味しく感じた」と感動した様子で言い、三村ひよりさんと川代さくらさんは「素焼きにしてみましたら甘くておいしかった」と目を輝かせて話した。



ネギの出荷



12月5日午後、クラス全員で畑に出掛け、見事成長したネギを見て歓声をあげながら収穫した。

ネギは授業で使う「ギョウザづくり」の材料分を残し、出荷交渉をして快諾を得た近隣の飲食店「め

ギョウザづくり

加工品として計画していた「ギョウザづくり」を食育活動推進に取り組みギョウザ製造販売の(株)信栄食品(並柳)の神倉まり奈さん他2人を講師に、12月12日に家庭科室で行った。ネギと鶏肉を混ぜ合わせ皮に包んで作ったギョウザを焼き上げ、試食しながら5、6個を家へのお土産に。当番を務めた加藤未来さんは「貴重な経験をして良い思い出になった」と締めくくった。野菜の栽培と成長に関わり、収穫と出荷販売の経済流通を学び、食品の加工を体験し地域の暮らしの魅力の端に触れる学習の時間であった。



ん処・金太郎さんに6日、約15kgを納品した。ラーメン用は甘みを活かすために火を通し、ギョウザにはシラの代わり



季節の料理教室

コロナ感染対策が続く中、昨年7月に約3年ぶりで行われた親子の料理教室につきき、季節の料理教室が11月16日に開催されました。

今回も笹賀地区食生活改善推進員の竹内さん、林さん、柳澤さんを講師に、フライパンひとつでできる「簡単おやき」と、常備菜にもなるおせち料理「叩きごぼう」「田作り」「黒豆きんとん」を調理しました。おやきといえば信州の郷土食で昔は冬の保存食としても重宝されたそうです。

時間の関係上、生地は推進員が事前に用意してあり、ナスと肉味噌を包んでフライパンで蒸し焼きに！おせち料理といえば手間暇がかかるイメージがありますが

が、レンジでチンする叩きごぼう、マーマレードを使った田作り、和菓子のように目でも楽しめる黒豆きんとん。どれも簡単に美味しく作るこ



黒豆きんとんは茶巾しぼり

最近ではできあいのおせち料理を手軽に楽しめるようになりましたが、工夫次第で簡単に料理し各家庭の味を作るのもいいと感じました。



時代は変われど伝統食を子や孫へと引き継いでいくことは大切で素敵なことですね。

令和5年 松本市ハタチの記念式典

1月8日(日)に松本市総合体育館で令和5年松本市ハタチの記念式典が開催されました。令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、これまで「成人式」として行ってきた式典について、今回から「ハタチの記念式典」に名称を変更しました。対象者は平成14年4月2日

当日の式典の様子 YouTube 松本市公式チャンネルでライブ配信され、録画配信も「松本のシカ」



松本市公式チャンネル

笹賀マネースクール

10月5、12、19日の3回に分けて、笹賀公民館にて、
「笹賀マネースクール」が開かれました。

お金は大事

小・中学校で、そして高校
でお金の授業（金融教育）が
始まりました。これからはお
金や、その流れに関する知識・
情報を正しく判断することが
重要です。

自分の将来や人生設計にお
いて、欠かすことのできない金
融リテラシーを向上させよ
う！という事で、公民館で企
画されました。

全3回、優しい内容から段
階を踏んで、難しい内容に踏

み込んでいきました。

誰が学ぶべき？

講師の百瀬さんは自身の経
験から、これからお金がかか
る子育て世代の皆さんに学ん
でほしいと考えています。

また、子どもたちの中で、
将来のお金のことを考えてい
る人が何人いるでしょう。海外で
は社会に出る前にすでに準備
がはまっているそうです。

そして老後2千万円必要な
って話も聞こえます。これは



講師紹介 百瀬 みさきさん

3人のお子さんを持つお
母さんです。元々は金融と
全く関係ない仕事をしていま
した。産休をきっかけに自分
の家計を見直したところ「こ
れヤバくない?」と思い、勉
強を始めました。「特定の
金融商品を勧めているので
はありません。興味のある人
に広く紹介し、それをき
っかけに知識を深めてもら
いたいです」

保有資格

FP技能士2級・投資診断士・証券外務員二種・
住宅ローンアドバイザー・TCマスターカラーセラピスト・
筆跡心理士(字の特徴で金運が分かります。)

学んでみて

今回受講し
た人たちに聞
いてみました。
●考えさせら
れることが大
きかった。考
えているだけ
はダメ。本当

世代に関係な
く、興味を持
てみんなが学
ぶべきこと
です。

教えてもらったこと

1 ライフプランを考える

- ・なぜお金の勉強が必要なのか
…これから何にどのくらいお金がかかるの?
- ・自分のライフプランを作る
…実現のためにすることは?

2 家計管理

- ・収入と支出 …貯蓄するためには
- ・節約のポイント …ちりも積もれば

3 投資の話

- ・投資とは …〈みんなの勘違い〉
- ・ちょっとだけ踏み込んだ話 …それは…



市長と住民の「つながり」

臥雲市長に「アタック」!

地域の元気な声を届けよう！in 笹賀地区

笹賀地区地域づくりセンターは
「地域が学生を育て、学生が地域
を元気にする」を地区テーマに市
長と住民の懇談会を開催した。市
長と若者の対話の機会として11月
26日、笹賀公民館を臥雲松本市
長が訪問して笹賀地区に通学し
る「松本看護大学・松本短期大学」
の学生と懇談した。

自家用車通学者は通勤のラッシュア
ワーと重なることから渋滞の緩和
対策を望む声が多く、公的交通
機関の利用者からは、市街地近郊
へのバスの乗り継ぎの利便性を求め
る意見があった。

松本短期大学は令和3年に創
立50周年を迎え、同年松本看護
大学を併設した。笹賀地区はミ
ニ学園都市として同校との交流を重
ね、学校と地域のあり方を共有し
ている。笹賀地区に在住し、或い
は通学して笹賀地区の風土に馴染
み、同じ空気に触れる地域の学生
の意見に触れる機会になった。

②の活動できる場所については、
テーマの主体が絞りきれない様子は
否めなかった。笹賀地区と短大は
地域づくり連携協定を結んでお
り、過去には「高齢者ふれあい会
食会」や「文化祭」で交流が行わ
れてきた実績があるが、その他で
は特に交流の場は開けていない。ま
たスポーツ活動についても施設利用
に留まってしまうことが懸念され、
まだまだ開拓の余地は残されてい
る。市長からは、電車通学の起点
となる村井駅が工事中で、東西通
用口を作り、学習、懇談のできる
自由スペースが出来るよう考案し
たいとし、隣接市町村とも連携し
ていくよう働きかけた」と提案が
あった。

看護大学生5人、短大幼児保
育学科5人、介護福祉学科から
2人の12人の学生と、オブザーバ
ーとして杉山佐俊（地区町会連合
長）太田尚行（地区福祉の地域づ
くり協議会長）渡辺渉（短大事
務長）関永信子（看護大准教授）
の各氏が出席した。

サブテーマⅠ「充実した学生生
活を送るために」として①通学
をはじめ、若者の行動を支える交
通インフラ②若者が活動できる場
所、を提示し意見を求めた。①の
交通については、市内や近郊からの

サブテーマⅡ「松本に望む将来
像」として、参加者の思いを聞き、
オブザーバーの感想の後、最後に市
長所感を伺って懇談会を終了した。
幼児保育学科1年の佐々木凌楓さ
ん（笹賀）は「地域に学び舎があ
り幸せに思う。保育士になって地
域に貢献したい」と抱負をのべた。

